事例No.	2110
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	北海道岩見沢市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT ・クラウド

事例種類	土木・インフラ

事例内容・タイトル

搭載したタブレット端末等を介した除排雪作業の安全確保・情報連携

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

130 搭載したタブレット端末等を介した除排雪作業の安全確保・情報連携【北海道岩見沢市】

事業の概要

○ 岩見沢市では、平成25年度から除排雪作業に関する検証を実施しており、これまで高精度位置情報と農業用GNSS(※1)ガイダンスの活用により、作業の安全性及び効率性を向上させてきた。更に、令和3年度からは、操作性の向上やデータ分析を図るため、新たなシステムの構築に着手している。





○ クラウド型システムをベースとした新たなシステムでは、GISやQZSS(※2)を活用し、除雪車両に搭載したタブレット上に雪で埋まった路肩などの道路形状や道路地物、現在位置の表示をはじめ、障害物に接近した際の通知機能などを実装し、作業の効率性や安全性の確保を図る。また、情報連携機能により、市民要望の共有など、除排雪対策本部と適時適切な指示を受けることが可能になる。

※1 Global Navigation Satellite System (全球測位衛星システム)
※2 日本の衛星測位システム(準天頂衛星システム(みちびき))

【参考情報①】 人口：7.9万人
関連URL： ー

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



除排雪業務を担うオペレーターの人材不足や高齢化が進行していることから、除排雪に係る作業品質の持続化や除排雪対策本部の業務オペレーションの向上に向け、当市で取組みが進むスマート農業で活用している技術を冬の除排雪作業でも活用ができないかということで、これまで検証を進めてきました。

（岩見沢市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和3年度からのクラウド型システムをベースとした新たなシステムの検証にあたっては、内閣府の地方創生推進交付金を活用しました。



事業の近況を教えてください。



令和3年度の検証結果を踏まえ、令和4年度はさらに高精度な位置情報の活用検証を行うとともに、クラウド型システムと除排雪作業支援アプリのバージョンアップに向けたアジャイル開発を行い、市民満足度の高い除排雪対策を進めたいと思います。

★担当：岩見沢市情報政策部 情報政策課★

令和3年度事業費 4,818千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府） 2,409千円）